

皆さんこんにちは！

今回はなんと池上先生が本の感想文を書いてくれました！！

## Sanyo Book Mileage

### キャンペーン

実施期間 4月26日～6月25日

期間中に三陽図書館で借りて

読んだページ数1Pを1マイルと換算

詳しい事は別紙参照

たくさん読んで認定書と図書カードを貰おう！

「八月の銀の雪」 著：伊予原 新

外側から順に、地殻、マントル、外核、内核。地球内部の構造の名称である。外側から中心部に向かうにつれて、岩石から金属へと推移している。外核は液体の金属層、内核は固体の金属層である。

緊張すると言葉が上手く出なくなり、無理に話そうとすると周囲から煙たがられる。しだいに周囲との繋がりを遮断するようになる。彼の趣味は、ロボット作成。プログラミングを独学で習得し、様々なロボットを作り出す。

明るく自信に満ち溢れた意識高い系。今日も意気揚々と投資仲間を募り、高きを目指す。口ばっかり達者で実力が伴っていない。周囲からの彼の評価。

日本語の下手な気の利かないベトナム人コンビニ定員。手際の悪さから、レジには不満を募らせた長蛇の列が並ぶ。彼女の真の姿は、ベトナムからの国費留学生。某有名大学の博士課程で学ぶ地球惑星科学専攻のエリート大学院生。

人は見かけじゃ判断できない。じっくり話してみても判断しよう。ではなさそうだ。判断するということが如何に難しいことか。如何に責任が伴うことか。軽率な判断なら耳を貸す必要はない。判断したければ心に向けて耳をすませ。と、いう風に読み取れた。日頃の行いをもう一度見つめ直すきっかけとなる一冊であった。